

第131回 市町村職員を対象とするセミナー

「生活支援体制整備事業や地域ケア会議による地域のニーズ把握から政策形成への展開」

高崎市

生活支援体制整備事業の取り組み

～みんなで支え合うまちづくり～



平成30年1月22日（月）

高崎市第1層生活支援コーディネーター

目崎 智恵子

本日の説明内容

1. 取組みの背景
2. 事業推進体制
3. 協議体設置までのプロセス
4. 協議体の役割とニーズ把握
5. 第2層協議体の具体的な活動
6. 制度の普及・啓発・連携



本日の説明内容

1. 取組みの背景

2. 事業推進体制

3. 協議体設置までのプロセス

4. 協議体の役割とニーズ把握

5. 第2層協議体の具体的な活動

6. 制度の普及・啓発・連携





高崎市の概要

▼平成29年9月末現在

人口	374,707人
世帯数	162,832世帯
高齢者人口	101,270人
高齢化率	27.03%
要介護等認定率	16.0%

小学校：58校 中学校：25校

・関東地方の北西部

群馬県中部よりやや南西に位置し、面積は約460 km²

・1市6町村合併

平成18年1月23日：倉渕村・箕郷町・群馬町・新町

平成18年10月1日：榛名町

平成21年6月1日：吉井町

・平成23年4月1日に中核市に移行





地域支援事業の実施状況

新しい介護予防・日常生活支援総合事業

(要支援1~2、それ以外の者)

- 介護予防・生活支援サービス事業
 - ・ 訪問型サービス
 - ・ 通所型サービス
 - ・ 生活支援サービス(配食等)
 - ・ 介護予防支援事業(ケアマネジメント)

- 一般介護予防事業

包括的支援事業

- 地域包括支援センターの運営
(左記に加え、**地域ケア会議の充実**)
- **在宅医療・介護連携の推進**
- **認知症施策の推進**
(認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員等)
- **生活支援サービスの体制整備**
(コーディネーターの配置、協議体の設置等)

任意事業

- 介護給付費適正化事業 ○ 家族介護支援事業
- その他の事業

多様な主体によるサービス創出
支え合いの地域づくり



H27年 4月 現行の訪問介護相当・
通所介護相当から実施
10月 特定生活支援サービス
介護予防サポーター活動体制強化

H27年 4月 介護予防教室 (運動、認知症)
訪問指導事業

H29年4月 高崎市高齢者の居場所事業

H27年 4月 基幹型直営1箇所+地域型委託26箇所
地域ケア個別会議・地域別課題検討会議

H27年 4月 医療介護連携相談センター設置

H26年 9月 認知症初期集中支援チーム設置
H27年 4月 認知症地域支援推進員配置 26人配置

H27年 9月 勉強会開始
H27年10月 さわやか福祉財団と協定締結

地域支援事業

※高崎市長寿社会課資料より





生活支援体制整備事業を開始する前に・・・

人口 約37万人
1市6町村が合併してできた高崎市
7地域には、それぞれ異なる実情



どこの地域に、
どんな活動をしている
人がいるのだろうか…？

環境、社会資源（民間企業、NPO団体、社会福祉協議会、地縁組織、商工団体、社会福祉法人、ボランティア団体、自治会、老人クラブ等）、住民同士のつながり、考え方、思い…など



必要とされる支援、支え合いの活動もそれぞれ

取組み

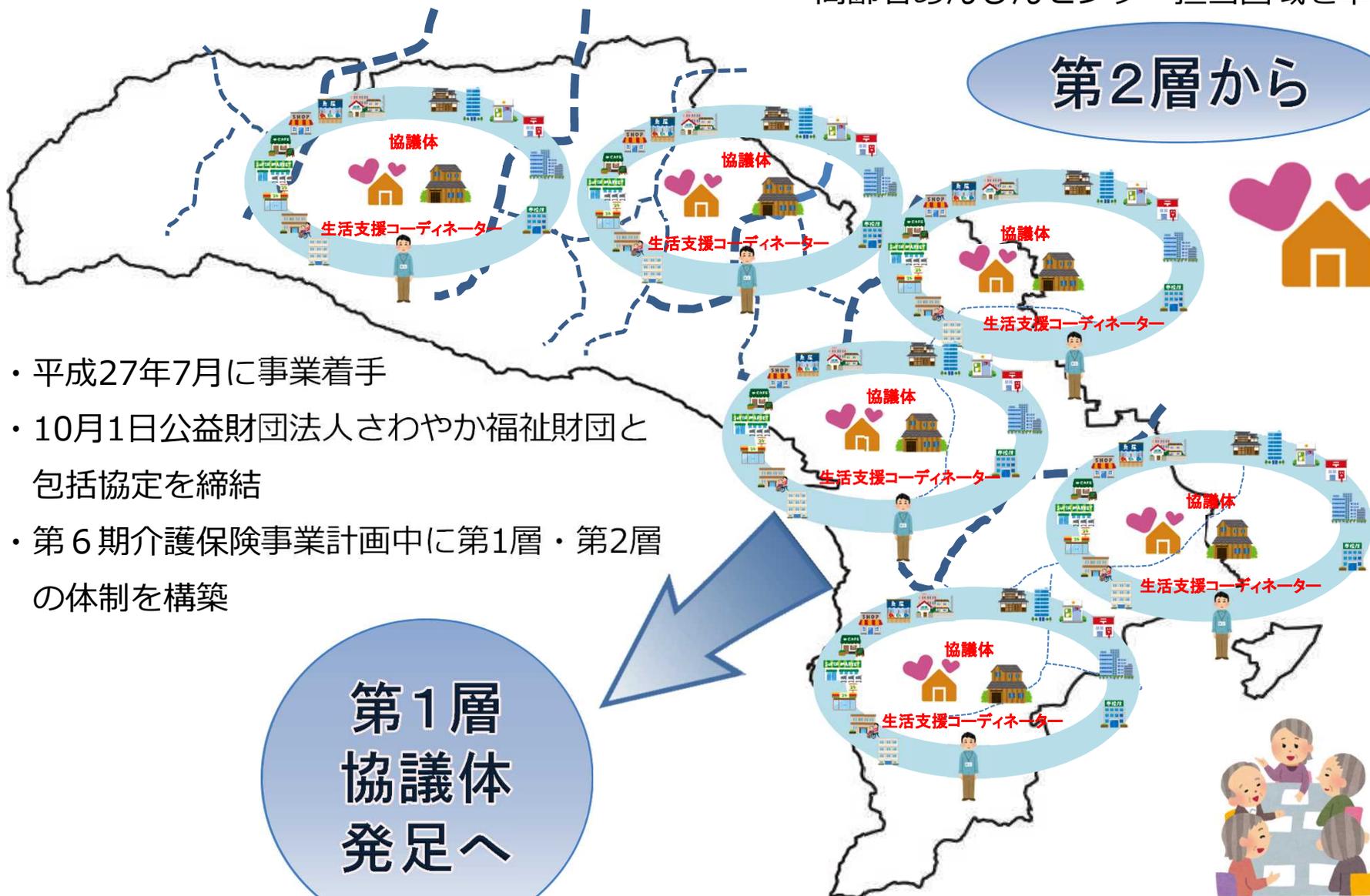
- 1 住民主体の支え合い活動を体制整備により生み出す
⇒ **自分ごととして捉える意識へ 主体的・自律的な基盤づくり**
“地域の人材と社会資源の掘り起こし”
できていること・できること探し
- 2 地域・市民の提言を施策へつなげる仕組みをつくる



第2層協議体発足に向けた取り組み

高齢者あんしんセンター担当圏域を単位

第2層から



- 平成27年7月に事業着手
- 10月1日公益財団法人さわやか福祉財団と包括協定を締結
- 第6期介護保険事業計画中に第1層・第2層の体制を構築

第1層
協議体
発足へ

本日の説明内容

1. 取組みの背景

2. 事業推進体制

3. 協議体設置までのプロセス

4. 協議体の役割とニーズ把握

5. 第2層協議体の具体的な活動

6. 制度の普及・啓発・連携





第1層協議体と第2層協議体

第1層（市全域）

生活支援コーディネーター

- 市町村全域でのサービス開発
- 住民によるサービス提供主体への活動支援
- 行政からの情報提供や意見交換の促進



◆第2層との協働

- 協議体が活動しやすいようサポート
- 生活支援コーディネーターの選定
- 運営指導

上下関係ではなく、
相互に連携・協働する関係



第2層（日常生活圏域）

生活支援コーディネーター

- 生活支援サービスについての**ニーズ把握**
- 圏域の活動団体・社会資源の把握
- 圏域に必要なサービスや活動（社会参加・活動の場・居場所等）の開発
- 地域への情報提供と利用者のサービスへの結び付け
- サービス提供主体・地域の諸団体、居宅介護支援・介護サービス事業所間の日常的な連携・協働の促進





生活支援体制整備事業の推進体制 (第1層SCの活動)



第1層生活支援コーディネーター【H28.4.1に委嘱】

- ・第2層協議体発足のサポート
- ・勉強会開催・当日のサポート・事前打ち合わせ
- ・第2層協議体への情報提供・アドバイス
- ・勉強会、フォーラムでの先行地区活動の紹介
- ・第2層協議体情報交換会の企画・実施、第1層協議体設置に向けて第2層との情報共有





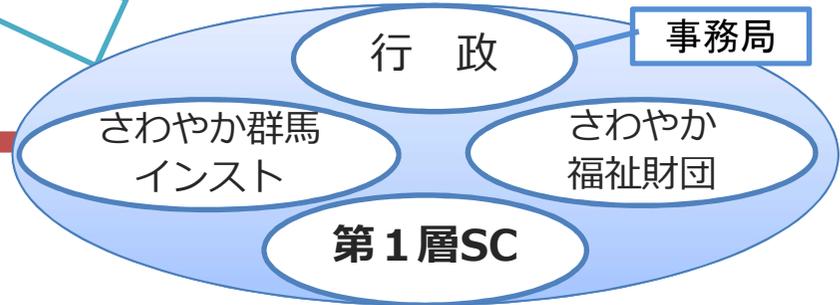
生活支援体制整備事業の推進体制（全体像）

第1層協議体
(H30年度設置検討中)

- ☆事業推進
(第1層あり方検討・情報収集等)
- ☆第2層協議体設置・情報共有
- ☆担い手養成企画・実施 等

構想中

事業推進会議
(コアメンバー会議)



第2層協議体 (26カ所)

第2層情報交換会

H27年度・H28年度 取組み開始地区 (20カ所)

群馬 (なのはな)	八幡	乗附	南八幡	中居・矢中
群馬 (さくら)	新町	城東・東部	佐野	北・西・東
榛名	倉渕	新高尾・中川	倉賀野	岩鼻
片岡	高松	京ヶ島・滝川	浜尻・塚沢	大類

**H29年度
取組み開始地区
(6カ所)**

豊岡	長野
寺尾・城山	箕郷
六郷・北部	吉井

本日の説明内容

1. 取組みの背景
2. 事業推進体制
3. 協議体設置までのプロセス
4. 協議体の役割とニーズ把握
5. 第2層協議体の具体的な活動
6. 制度の普及・啓発・連携





各地区の取組開始状況

平成27年度	6カ所で開始⇒すべて協議体を設置 (6協議体/26地区)
平成28年度	14カ所で開始⇒平成29年3月末日迄に14カ所協議体設置 (20協議体/26地区)
平成29年度	4月より6箇所で開催⇒平成29年10月までに6ヶ所協議体設置 (26協議体/26地区)



各地区、平均約50名参加

この取組みに「積極的に参加したい」・「誰かがやるなら協力したい」と答えた参加者は平均**6割**以上



協議体ができるまでのプロセス

「大づかみ方式」によるメンバーの選出

- ・平成27年度→地域づくりの実績のあるキーパーソンが仕掛け役
- ・平成28・29年度→高齢者あんしんセンターが仕掛け役

事前打ち合わせ

仕掛け役が、地域づくりの実績ある、ボランティア活動をしている、地域を牽引できる人を選定し「勉強会」参加を呼びかけ



大づかみ勉強会

介護保険制度や地域の支え合いの必要性などについて勉強会を開催



アンケートを実施し、参加意欲のある人を選定

選定メンバーによる勉強会

協議体の活動についてのイメージづくり、ワークショップ（地域の困りごと・良いところ・こんな地域にしたい等）



意識統一

協議体発足へ

地域に関する情報について意見交換、意識合わせ、発足の合意へ



第2層

生活支援
コーディネーター
選出



資源開
発

社会資源
調査

ニーズ
調査

ネット
ワーク
構築

マッチン
グ



支え合い活動の実施

- ・各協議体で「目指す地域像」を決定
- ・協議体のあり方検討も行っている

大づかみ勉強会

大づかみ勉強会

- ・介護保険制度改正
- ・支え合い体制

地域のキーマンを探す (大づかみ方式)

鳥の目!



地域づくりに関心のある方
地域で活動している方等に
声掛け役（推進役）



* あんしんセンターとは・・・委託包括

第2回以降の勉強会

推進役が中心となり、前回の振り返りから、協議体の役割と目的、**地域の状況**についてのワークショップ、情報共有、意見交換を中心に行っています。

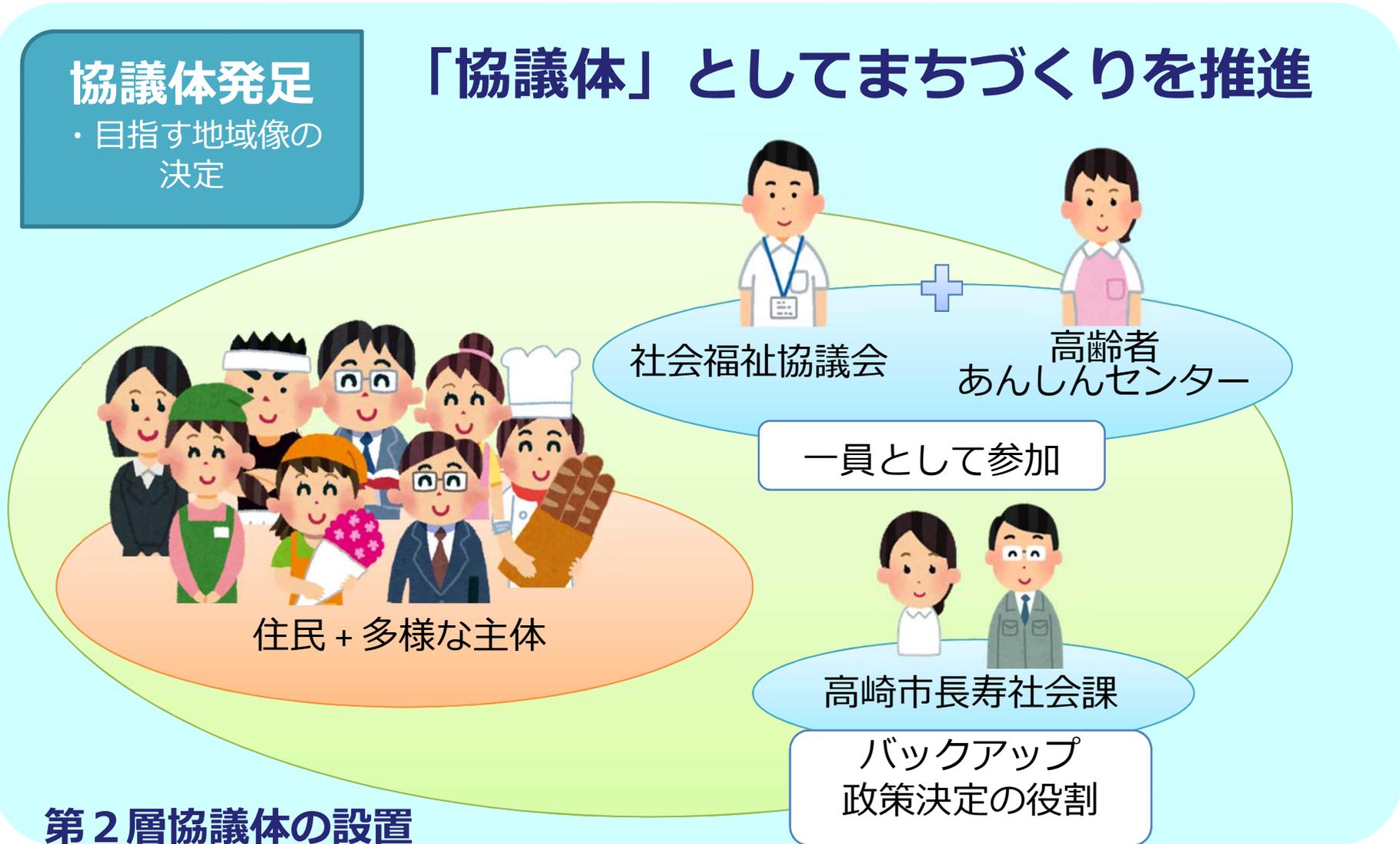


協議体発足（意識統一）

協議体発足

- ・ 目指す地域像の決定

「協議体」としてまちづくりを推進



第2層協議体の設置

- ・ 平成27年度 6協議体（28年度に7協議体へ）
- ・ 平成28年度 13協議体
- ・ 平成29年度 6協議体

26協議体
毎月協議体会議を実施

協議体の発足 第2層協議体「目指す地域像」 地区別

「こんな地域にしたい！」を表現

■ 群馬地区（さくら協議体）



「多世代の交流があり
～多世代の世話人がつどい
隣近所をたすけあう地域～」

■ 群馬地区（なのはな協議体）



「地域で支え合うまち」
～気軽につかず はなれず
おせっかい～

■ 片岡協議体



「明るく楽しく支え合う
長生きが幸せにつながる
まちづくり」

■ 新町地区



「あったらいいな！が
実現できるまち
～私たちの力で～」

■ 城東・東部協議体



「で愛、ふれ愛、ささえ愛
～つながろう住みなれた町で～」

■ 八幡協議体



「動ける人がお互いに見守る
交流のあるまち」

高崎市の協議体会議（支え合いの仕組みづくり）

住民が主体となって、地域課題や社会資源を整理し、
あんしんセンター（委託包括）、社会福祉協議会、
行政と一緒に支え合いの仕組みづくり及び
地域課題解決に向けた検討、資源開発を行っています。

高崎市長寿社会課

あんしんセンター

社会福祉
協議会

車に乗れず
移動ができなくて
困っている人
どうしよう。

地域の集まりの場
があったらいいね。

地域の商店が
なくなって
近所で買い物
できる店が
ないな。

高齢者世帯が
多くなってきて
いるなあ。

本日の説明内容

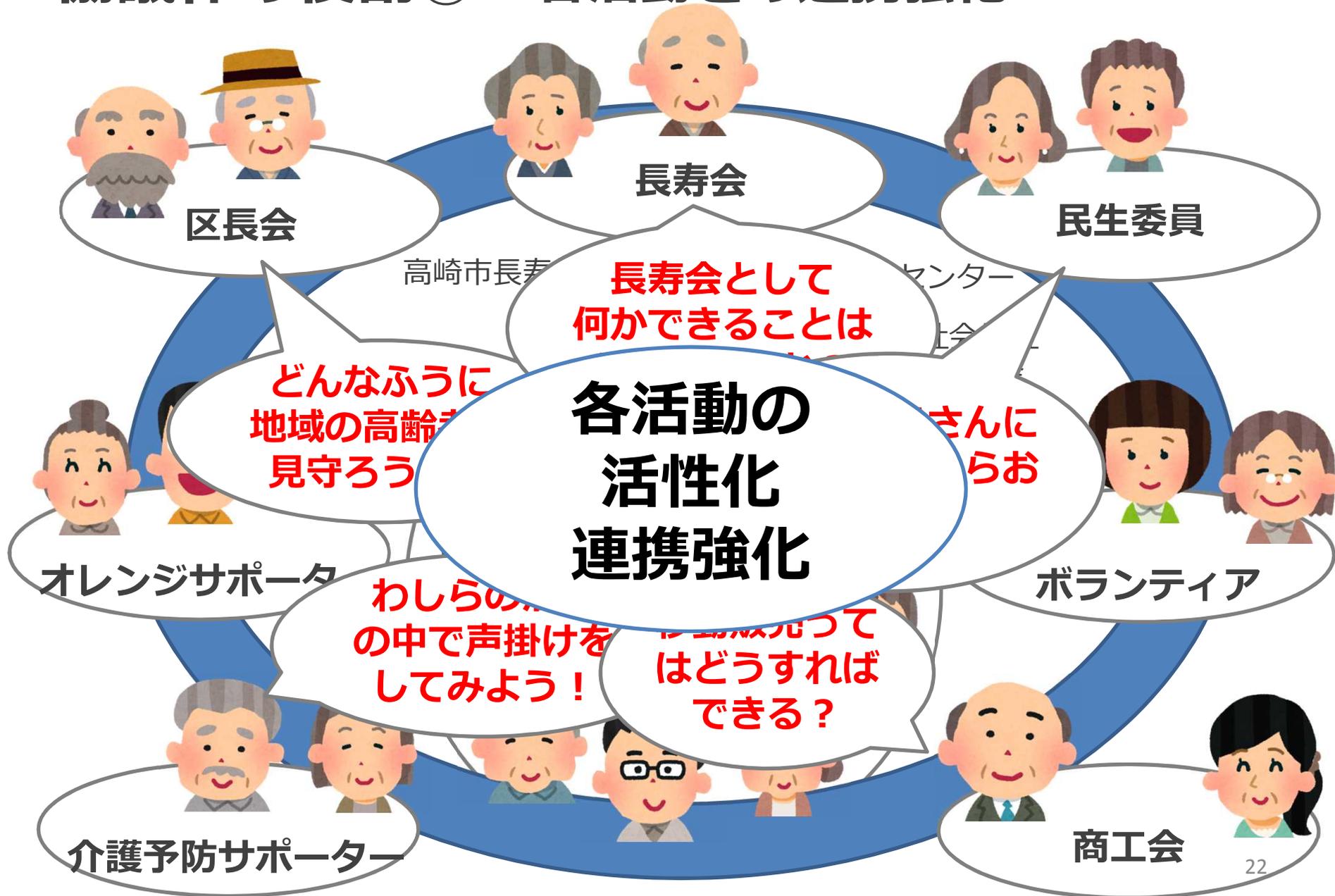
1. 取組みの背景
2. 事業推進体制
3. 協議体設置までのプロセス
4. 協議体の役割とニーズ把握
5. 第2層協議体の具体的な活動
6. 制度の普及・啓発・連携



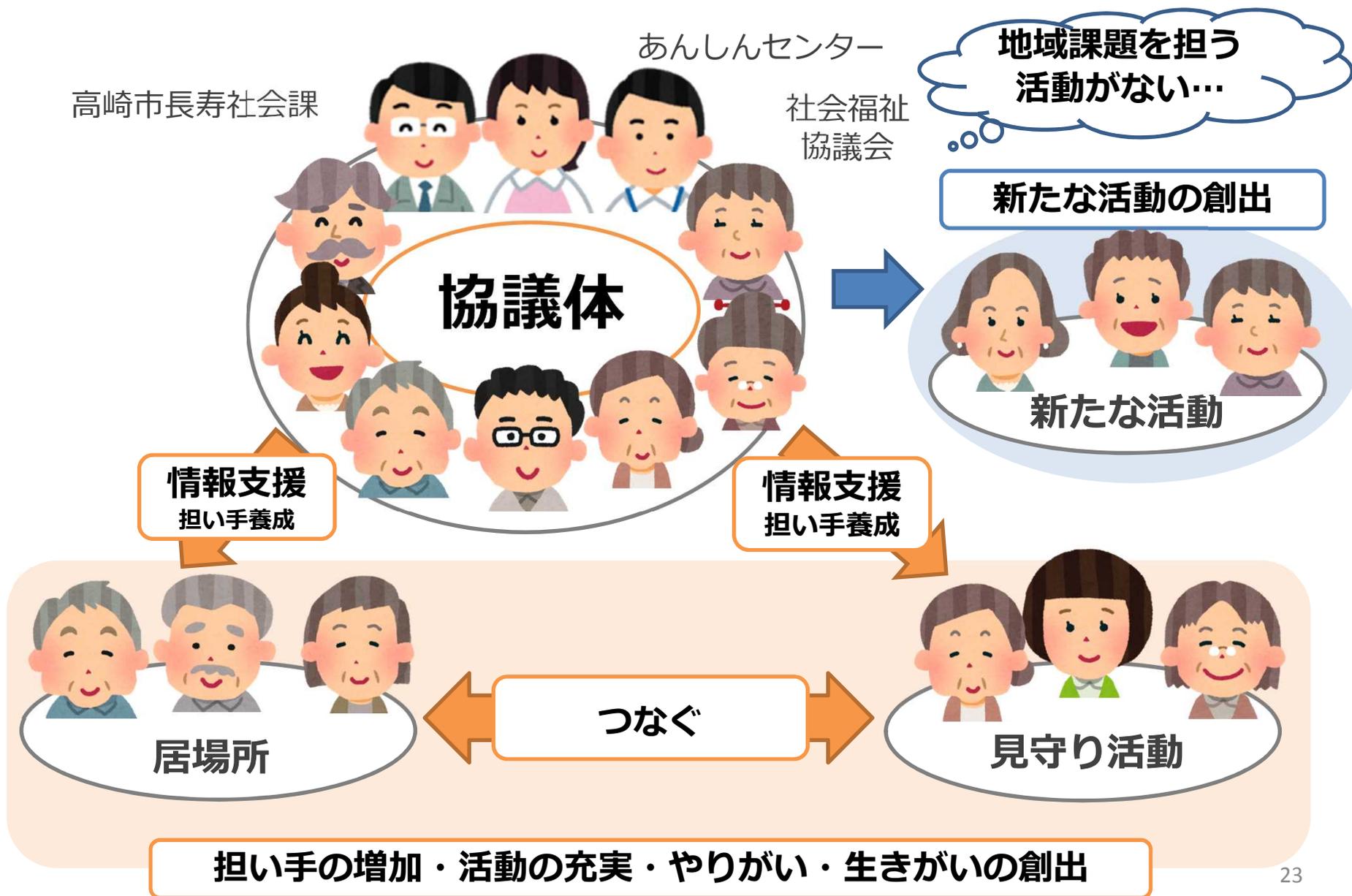
協議体の役割① 情報共有機能・各活動の活性化



協議体の役割② 各活動との連携強化



協議体の役割③ 多様な主体との連携・資源開発



事例) 地域ニーズ把握の方法 (包括より)



あんしんセンター

総合事業・要支援対象者のサービス利用内容



あんしんセンター

高崎市長寿社会課

社会福祉協議会

協議体

集える場所が必要だ!

移動販売があれば・・・

ゴミ出しの手伝いをしよう!

元気である事大切だ!

あんしんセンター（委託包括）から 第2層協議体へ情報提供

①通所・訪問サービスの利用内容（町内別）

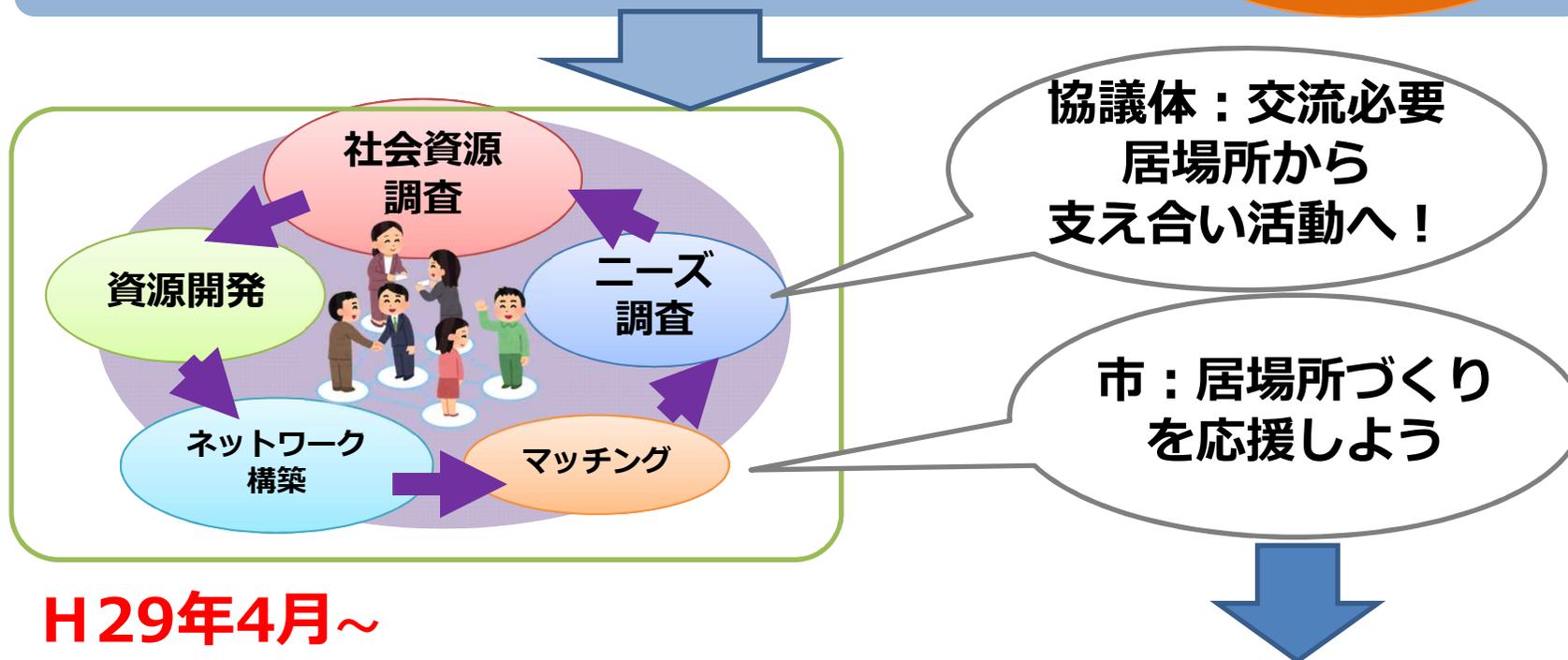
H29年4月現在

町内会名	デイサービス		訪問介護							対象人数
	リハビリ	入浴	買い物	調理	掃除	ゴミだし	洗濯	入浴	移動介助	
上豊岡 1	5	1	2	1	2	1				7
上豊岡 2	4	1			2					6
上豊岡 3	3	2	2	2	3	1	1			5
上豊岡 4	2	1	1							3
上豊岡湯関	5				3			1	1	6
下豊岡 1	7	2	1	1			1			8
下豊岡 2	10	2	1		3		1			10
豊岡団地	8	1	1	1	2					9
中豊岡 1	3		2	1	2		1			5
中豊岡 2	5	2	2	1	3					6
北久保	12	2	5	4	9	1	4		1	16
	64	14	17	11	29	3	8	1	2	81

「地域の支え合い・介護予防・社会参加」の拠点づくり

第2層協議体会議（26カ所） 毎月1回開催

群馬 (なののはな)	八幡	乗附	南八幡	中居・矢中	豊岡	長野
群馬 (さくら)	新町	城東・東部	佐野	北・西・東	寺尾・城山	箕郷
榛名	倉淵	新高尾・中川	倉賀野	岩鼻	六郷・北部	吉井
片岡	高松	京ヶ島・滝川	浜尻・塚沢	大類	情報共有	



H29年4月～

高齢者居場所補助事業（一般介護予防）開始

本日の説明内容

1. 取組みの背景
2. 事業推進体制
3. 協議体設置までのプロセス
4. 協議体の役割とニーズ把握
5. 第2層協議体の具体的な活動
6. 制度の普及・啓発・連携





第2層協議体の具体的な活動

① 協議体の周知

倉賀野情報速報
平成29年9月号 **保存版**

住み慣れた我が家で 暮らし続けるために 協議体が発足しました

きょうぎたい (協議体)
みなさんは日常生活をおくると感じている事はありませんそんな困りごとを地域住民が行政・NPO・社会福祉法人・支えあいを考えていくチーム地域住民一人ひとりが主役と
いいあひばいで生活できるよ

住民主体で支え合う地域づくりを考える仕組み

乗附地区に協

見守り・支え合う
顔の見える
ふれあいのまち

乗附地区が目指す地域像

「支え合い」という、「支え」「支えられ」相互の仕組みの中で作られる絆やふれあいはより深い喜びや楽しみを生み出し、それが広がることは地域で活躍する力となります。
乗附地区が目指す地域像は「見守り・支え合う 顔の見えるふれあいのまち」です。

裏面もご覧ください

住民主体で支え合う地域づくりを考えるしくみ **回覧**

八幡地域支え合い協議体の活動が始まっています!

介護保険制度が改正され、地域住民が主体となり皆が住みやすい地域づくりについて話し合っていく「協議体」の活動が全国で始まりました。
※「協議体」とは、住民が主体となって市や社会福祉協議会、NPO、地域組織、多職種と一緒に地域の支え合いを考えていくチームです。
八幡地域では市内でもいち早くこの活動に取りかかり、八幡地域の支え合いについて活発な話し合いを行っています。
※高齢者あんしんセンター八幡 高齢者あんしんセンターさとの花 高崎市社会福祉協議会も参加しています。

お隣さん 夜になっても電気がつかないわ
足守り・声かけ活動 地域の皆さんで足守りや声かけをする活動です
回覧板を持っていくときに様子みてみよう

**困ったときは
お互い様で支え合う!!**

電球交換が大家
家事援助活動 近所の人がちょっとしたお手伝いをする活動です

鼻高町第1の地域支えあ
鼻高公民館 折
高崎市
興味のある方はぜひ声と一緒に八幡地域を回り

高崎市
片岡地区で **協議体** が始動しています

明るく 楽しく ささえあう
長生きが幸せにつながる まちづくり

地域で支え合う時代
がやってきます!

話し合いや活動に
参加してみませんか?

「協議体」とは、地域住民が中心となり、少子高齢化社会での困りごとに対して「あったらいいな」という助け合いの仕組みなどを考え、創り出していくチームです。
お住まいの皆様です。
皆さんの声を聞かせてください!

**曜日 10:00~12:00
片岡公民館**

一高風團 ☎027-325-3578
城包括支援担当 ☎027-321-1319
社会福祉課 ☎027-370-8855

中央・南・城南地区に

高松協議体が発足

誰もが住み慣れた「町」で
最後まで安心して暮らし続けられるために・・・

みなさんの声を聞かせてください!!

協議体とは、地域住民が中心となり、地域で生活しているからこそわかる、困りごとや足りないものなどを話しあい、支え合いの仕組みをどう作っていくかを考えていくチームです。
まだ始まったばかりで、地域の皆さんの協力がなければ成り立たないことを、発足に関わったメンバー全員が感じています。これからの地域の支え合いや助け合うまちづくりに、一緒に参加しませんか?

【問い合わせ】
高齢者あんしんセンター通町：五十嵐、青木、濱野 ☎027-322-2011
地域支えあいサポーター：山本、夢胡（NPO法人ライプリー） ☎027-330-5371



第2層協議体の具体的な活動

②ニーズの把握

アンケート調査、聞き取り調査 各団体より情報収集

乗附地区困りごとアンケート集計 (乗附・八千代全体) 778 / 2745 28.3%

1 家族構成をお聞きます	
①一人暮らし	140 (18.2%)
②夫婦二人	219 (28.4%)
③家族と同居	412 (53.4%)
2 生活全般について	
①旅行などを含めて自由にどこでも出かけられる	618 (58.1%)
② 隣近所のお付き合いや「ゴミ出し」などやっている	353 (33.2%)
③ 少し不自由はあるが近所ぐらいいなら出られる	57 (5.4%)
④ ほとんど家の中で過ごしている	20 (1.9%)
⑤ 家族又は他人の手を借りないと生活できない	16 (1.5%)
3 日常のお買い物について	
① 自由にできている	684 (84.8%)
② 不自由は感じているがまあまあ出ている	62 (7.7%)
③ 人の手を借りないと出かけられない	34 (4.2%)
④ 宅配などサービスを利用している	27 (3.3%)
4 医院・病院等、病気の治療・診療について	
① 自由に行くことができる	682 (86.7%)
② 不自由は感じているが一人で通っている	47 (6.0%)
③ 人の手を借りないと行けない	44 (5.6%)
④ 往診を受けている	14 (1.8%)
5 生きがいとなる居場所や友人・仲間について	
① 定期的に仲間と集って話している	398 (52.2%)
② 定期的ではないが、友人・仲間と話している	282 (37.0%)
③ あまり興味もなく、友人もごく少数に限られている	27 (3.5%)
④ 友人・仲間はほとんどいない	29 (3.8%)
⑤ 高齢者が気兼ねなく集まれる場所や仲間がほしい	26 (3.4%)

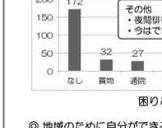
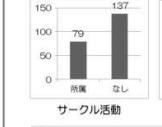
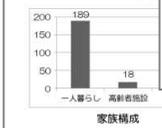
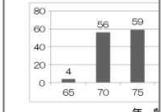
乗附地区困りごとアンケート
生活支援体制事業乗附地区協議体

1 家族構成をお聞きます		
①一人暮らし	②夫婦2人	③家族と同居
2 生活全般について		
①旅行などを含めて自由にどこでも出かけられる		
② 隣近所のお付き合いや「ゴミ出し」などやっている		
③ 少し不自由はあるが近所ぐらいいなら出られる		
④ ほとんど家の中で過ごしている		
⑤ 家族又は他人の手を借りないと生活できない		
⇒ この場合、今どうされていますか。		
3 日常のお買い物について		
① 自由にできている < ア 車で イ 自転車で ウ 徒歩で >		
② 不自由は感じているがまあまあ出ている		
③ 人の手を借りないと出かけられない		
④ 宅配などサービスを利用している		
4 医院・病院等、病気の治療・診療について		
① 自由に行くことができる < ア 車で イ 自転車で ウ 徒歩で >		
② 不自由は感じているが一人で通っている		
③ 人の手を借りないと行けない		
④ 往診を受けている < 週1回 2週に1回 月1回 >		



滝川・京ヶ島地区

目的: ○○○○○○
対象者: 滝川・京ヶ島地区
方法: 各地区の民生委員
実施時期: 平成29年○月
回答件数: 226件



◎ 地域のために自分ができること

- 話し相手/相談相手
- 子供の見守り
- ゴミ収集所の清掃
- 公共地の草取り
- 地域の役員
- 地域のハトロール など



平成29年7月3日
八千代町二丁目町内会
区長 三村 進
乗附地区協議体

生活支援体制整備事業乗附地区協議体

生活支援に関するアンケート調査の御願い

夏の候、会員の皆様にはご健勝の事と拝察いたします。
記の件につきまして①生活支援体制・協議体の説明チラシをご覧
②乗附地区困りごとアンケートに記入の上7月15日(土)ま
り、お返事が遅れますが、介護保険法の改正に依り、地域(町
)単位で班長さんにお渡し頂きますようお願い申し上げます。
高齢者の支えは出来るだけ地域(町)単位で解決できる
人も含む

介護保険法改正と生活支援体制整備事業(住民主体で支え合う
地域づくりを考える仕組み)→協議体について

平成27年度制度改正→目玉は大きく3点
要支援1・2の軽度者について、訪問介護及び通所介護(デイサービス)の予防給付の対象から除外
等介護の改正(小規模型介護事業者の再編成)
介護老人ホームの入所対象を原則要支援3以上へ一階に影響が出ています

2012年 騎馬戦型
支援する人口(64歳以下)と支援が必要な人口(65歳以上)の差が少なくなりつつある。

2050年 肩車型
1人(65歳以上)
12人~推計(20~64歳)

肩上げ型社会から肩車型
社会を予想した国は
社会保障改革には限
度があるので、機動的
言うと地域の支援を
必要とする高齢者等は
地域の元気で支える

各協議体

ワークショップで 地域の実情を知る



ニーズ把握

地域の情報整理





第2層協議体の具体的な活動

③ 社会資源の把握



マッピング

リストづくり

上町崎公民館		町時
地区名 代表者・番号	内容	
1 ミチの会	いきいきサロン	第2(木) 12:00~13:00
2 アロハクラブメウアラ	フラダンス愛好会	毎週(日) 9:00~12:00
3 卓球クラブ	卓球愛好会	毎週(火) 13:00~15:30
4 カラオケ	カラオケ愛好会	毎週(火、金) 10:00~12:00又は 18:00~21:00
5 楽音(マナ)の会	オカリナ愛好会	毎週(水) 14:00~16:00
6 ヘルプフォーレアンサンブル	トーンチャイム(楽隊)愛好会	第1・3(木) 10:00~12:00
7 生命の野薑体操	健康体操	





第2層協議体の具体的な活動

④担い手養成

各地区の進捗に合わせて協議体・高崎市の共催で実施



【考え方】

地域づくりを行う仲間づくり
協議体の理解者を増やすことを意識
基礎研修は導入部分とし、気軽に参加できるものにする



協議体メンバーの紹介

協議体メンバーやサポーターは「地域支え合いサポーター」

高崎市に登録し、以下のどちらかの（両方でも可）活動を行う方々が地域支え合いサポーターです。

地域づくりを考える人

【どんなことをするか】

勉強会や協議体へ参加し、地域づくりについて考え活動する人。

【どうすればなれるか】

特別な研修は必要なく、生活支援体制整備事業の趣旨に賛同し、市に名簿登録すればサポーターになれる。

【その他】

継続的・積極的に地域づくりに参加するサポーターは、**協議体のコアメンバー**となる。



サービスの担い手

【どんなことをするか】

協議体で決定して創出されたサービス等の担い手として、実際にサービスを提供する。

【どうすればなれるか】

所定の研修を修了し、市に名簿登録すればサポーターになれる。

【その他】

研修は必要に応じて市が開催する予定。



高崎市地域支え合いサポーターの活動の実際

気にかける & そっと支える & 見守る



地域づくりを考える



自分で「できること」「したいこと」を地域で活かす
元気でいるために…



支え合いの健康体 & お茶会



居場所

このベンチから始まった

買物に行きたいが坂道があつて帰りが大変で買い物に行けない
店に休むところがあつたらな～





第2層協議体の具体的な活動 ～八幡協議体～

八幡地区 第2層協議体会議 概要

協議体発足：平成28年1月

構成メンバー：元区長、区長、民生委員、公民館長（八幡クラブが中心）
高齢者あんしんセンター、社協、行政



項目	内容
人口	14,212人
高齢化率	29.86%
世帯数	5,123世帯
総人口	14,212人
男性	7,123人
女性	7,089人
0歳～14歳	1,234人
15歳～64歳	6,789人
65歳以上	6,189人

項目	内容
人口	14,212人
高齢化率	29.86%
世帯数	5,123世帯
総人口	14,212人
男性	7,123人
女性	7,089人
0歳～14歳	1,234人
15歳～64歳	6,789人
65歳以上	6,189人

人口：14,212人 高齢化率：29.86%
※2017年7月3日時点

「動ける人がお互いに見守る交流のあるまち」

- 【ニーズ把握】 アンケート 聴き取り 関係団体より情報収集等
- 【ニーズ】 居場所・買い物 支え合いの体制づくり（第3層協議体づくり）
- 【周知】 協議体発足チラシを全戸配布 協議体だより作成中
- 【社会資源の把握】 資源調査、資源マップ作成見える化
- 【担い手養成】 支え合いサポーター養成講座等
- 【資源開発】 移動販売導入 サポーター活動 居場所 自主サロン
- 【ネットワーク】 介護保険事業所勉強会



八幡協議体会議の様子



第2層八幡協議体へあんしんセンター（委託包括）から情報提供

①通所・訪問サービスの利用内容（町内別）

H29年4月現在

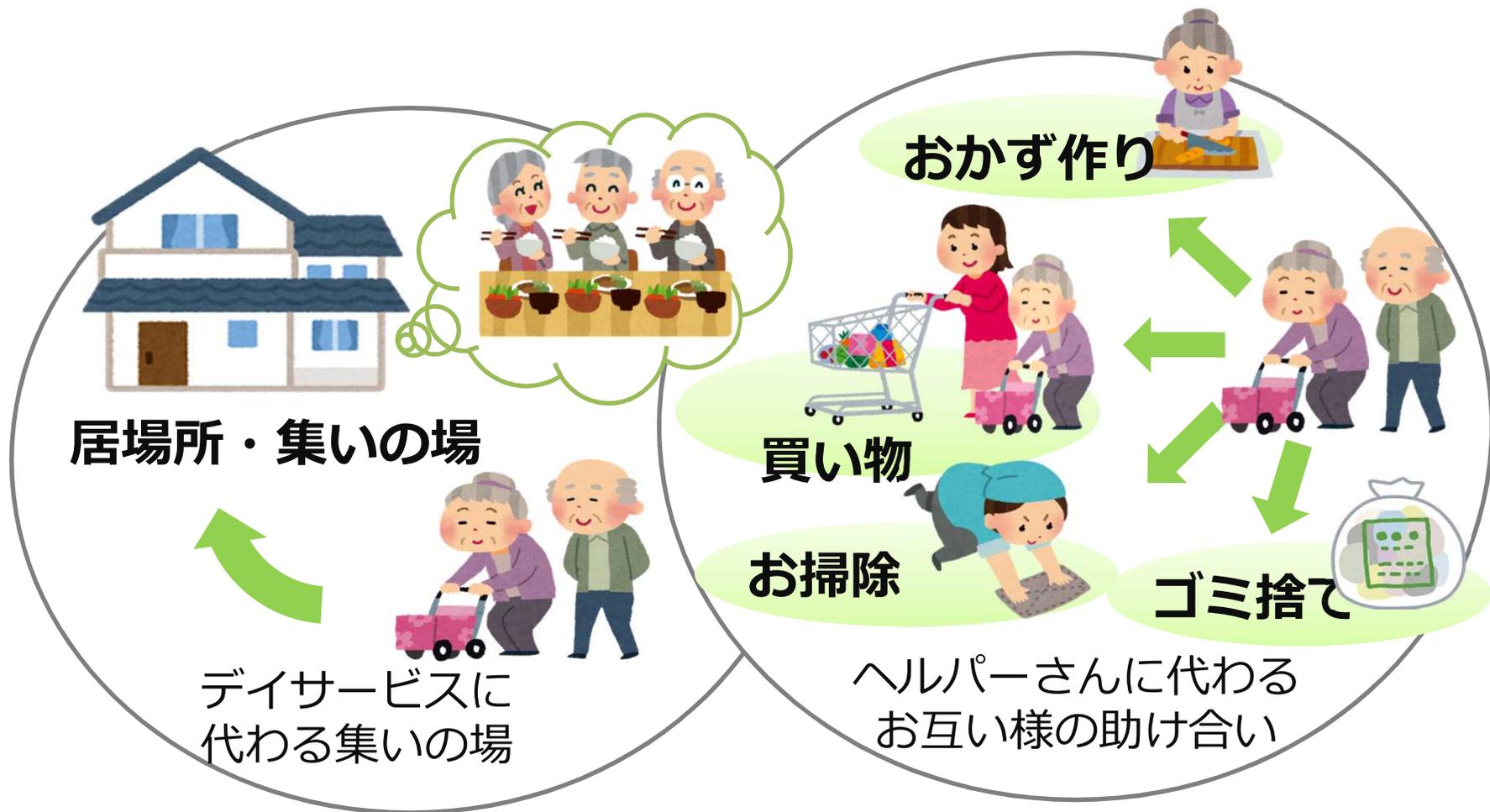
町内会名	デイサービス		訪問介護							対象人数
	リハビリ	入浴	買い物	調理	掃除	ゴミだし	入浴	洗濯	その他	
金井淵	13	8	5	1	6	2	1	2		14
上剣崎	14	3	6	5	7	1		2		19
下剣崎	5	1	1	1	1		1			7
下大島	2	1								2
町屋	3		3	1	5		2		1	9
群馬八幡	2		2		3	2	1			4
八幡1	9	4	1	1	2			1		9
八幡2	12	4	3	2	5	1	2	1		16
八幡3	9	1	3	1	5	1	1	1		14
八幡4	3	2		1	3	1	1			6
若田	2									2
	74	24	24	13	37	8	9	7	1	102

第2層八幡協議体へあんしんセンター（委託包括）から情報提供 ① 高齢者ニーズ（総合相談・実態把握より）

H27年4月～H29年4月迄

町内会名	世帯数	居場所 運動	見守り	買い物	通院	移動手段	調理 弁当	掃除	入浴	ゴミだし	住環境	布団干し	床屋	対象人数
金井淵	530	4	8	11	6	2	8	9	5	4		2		31
上剣崎	1240	12	7	6	1	2	5	6	4	1			3	35
下剣崎	485	1	7	2	3			2					1	14
下大島	207	2	1								1		2	6
町屋	255	4	1	1		1	1	1	2		1			9
群馬八幡	352	2	1	3	1		2	1	1	1			1	11
八幡1	330	6	4	1	1		2	3						11
八幡2	445	13	7	4	2		6		2		1			27
八幡3	695	8	6	7	3		4	3	3		3	2	1	26
八幡4	440	8	5	2	2		3	3	4	1	1	2		19
若田	113	1	1	2	2		1							5
		61	48	39	21	5	32	28	21	7	7	6	8	194

元気なうちからお互い様で助け合う関係をつくる



まずは集まる場からニーズを聴き取り
声掛け見守りから始めよう
それには仲間づくり（担い手）も必要

第2層協議体担い手養成 ～八幡地区～

2017年1月30日 参加者65名・ 2017年6月17日 参加者45名
担い手養成講座開催（共催：八幡地区協議体・高崎市）



地域支え合い
サポーター
- HANDBOOK -



高崎市





高齡者居場所補助事業 (一般介護予防)

下大島「八起きサロン」



資源開発

① 地域支えサポーター主催 「いきいきサロン」



資源開発

②地域支えサポーター主催 健康体操



認知症本人も参加



理学療法士との連携

資源開発

① 買い物支援（移動販売）





介護保険利用者も
地域の人と一緒に・・・

荷物を届ける



自分の目で見て買える



本日の説明内容

1. 取組みの背景
2. 事業推進体制
3. 協議体設置までのプロセス
4. 協議体の役割とニーズ把握
5. 第2層協議体の具体的な活動
6. 制度の普及・啓発・連携





制度の普及・啓発

市民向けフォーラム開催



開催日	対象	参加数
平成28年2月21日（日）	市民	約450人

プログラム

- 挨拶 高崎市長 富岡 賢治
- 基調講演
「目指すべき地域像 より広く、より深い助け合いを」
さわやか福祉財団 会長 堀田 力
- ディスカッション
「語ろう、まちづくり。つなごう、支え合いの輪。」
高崎市地域支え合い推進サポーター
社会福祉法人みどの福祉会 丸茂 ひろみ
認定 NPO 法人ハートフル 高橋 大吾
認定 NPO 法人じゃんけんぽん 目崎 智恵子
さわやか福祉財団 会長 さわやか福祉財団 会長 堀田 力

さわやか福祉財団 会長 堀田 力
現、公益財団法人さわやか福祉財団 会長・弁護士、高齢社会 NGO 連携協議会代表、社会保障審議会委員、中央社会福祉審議会委員等を歴任。新地域支援構想会議発起人として、国や市町村へ提言するなど全国各地で強力に絆のある地域づくりを推進中。

参加費無料！ 申込みは裏面を見てね！






区長・民生委員勉強会の開催

高齢者が地域で安心して暮らし続けるためのまちづくり～区長民生委員とともに～

開催日	対象	参加数
平成28年7月12日（火）	区長141人 民生委員165人	150人
平成28年8月9日（火）	区長389人 民生委員536人	420人



1 制度説明

2 第1層生活支援コーディネーターの紹介



3 先行地区の活動報告





庁内勉強会 ～部局間連携の強化～

開催日	対象	参加数
平成29年8月24日（木）	市役所内 全ての部局の職員	137人



1 さわやか福祉財団より 制度説明



2 担当課より 事業の経緯説明



3 第1層SCより 協議体活動の事例報告





連携（第1層協議体発足に向けた取り組み）

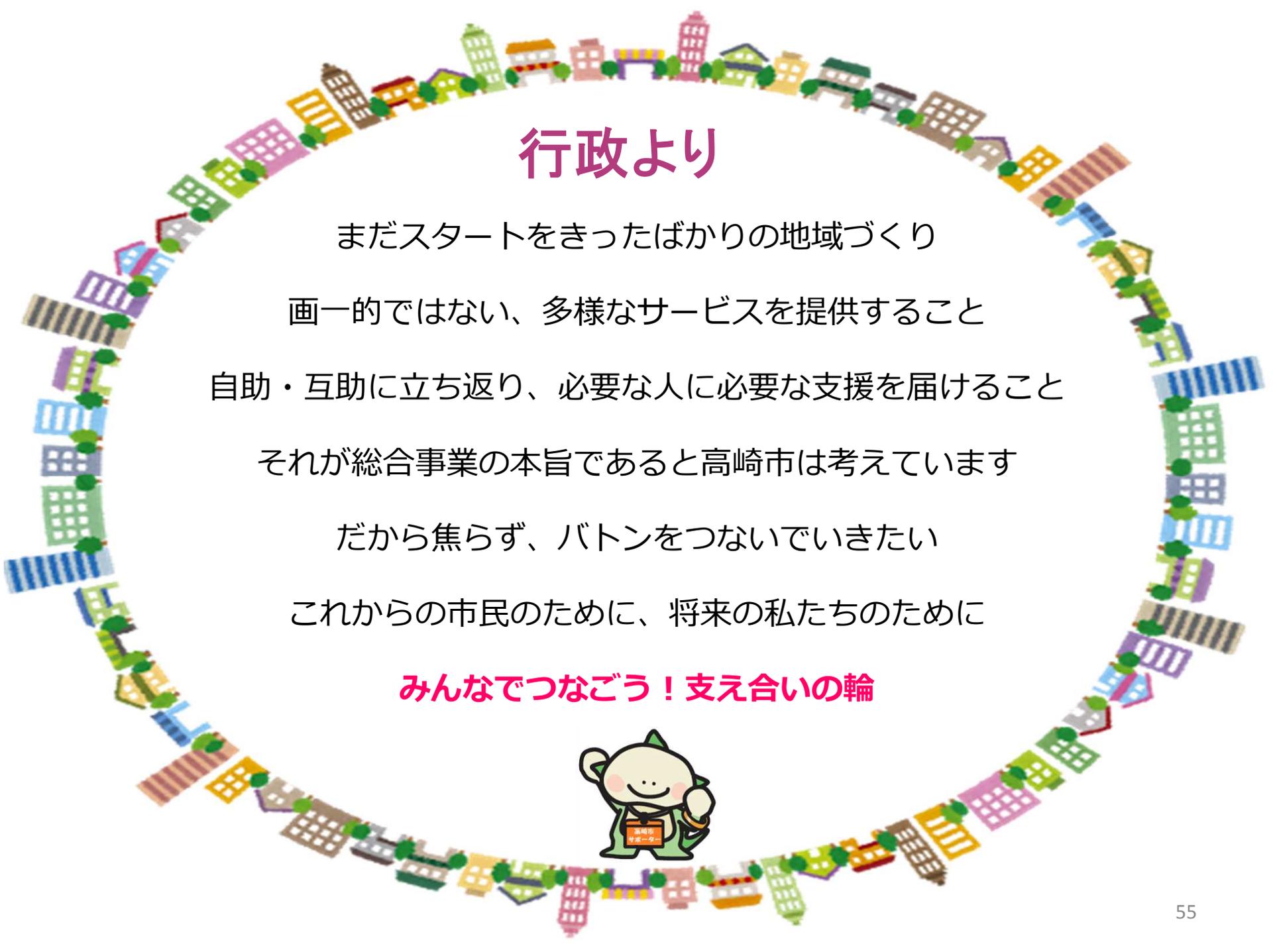
第2層協議体情報交換会①

- 目的：各協議体活動状況・情報共有、ネットワークづくり
- 進行：第1層SC ○メンバー：住民+あんしんセンター+行政
- 内容：行政説明+各回ごとのテーマ（コアメンバー会議で検討）

期日	参加協議体数	内容（テーマ）	推進側のねらい
第1回 5月18日	7	各地区からの報告	他地区の取り組みを知る 協議体の活動について具体的なイメージを持つ
		協議体で作成した社会資源マップ・リスト、周知のためのチラシ、担い手の養成の取り組み等、各地区の報告を聞き、実物を見て情報を得る。	
第2回 7月20日	14	3つのテーマ（協議体の周知、居場所、担い手の養成）についての取り組み	活動の中で課題として多くあがるテーマ3つに焦点をあてて情報共有 制度理解を深める
		3つのテーマに関する他地区の活動報告を聞き、取り組みの経緯や実施内容・方法について情報を得る。	

第2層協議体情報交換会②

期日	参加協議体数	内容（テーマ）	推進側のねらい
第3回 9月14日 	16	行政説明：第1層協議体立ち上げに向けた準備 協議体で何について話しているか（グループトーク） <div data-bbox="929 678 2038 949" style="background-color: #f9a825; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 協議体が地域情報を共有する場であることを確認し、共有した情報の中から、自分たちで見出していく、その一步一步が支え合い活動の創出につながることを理解する。 </div>	制度理解を深める。情報共有の価値、現在の活動に対する肯定観を高め、さらにそこから支え合い活動へのつながっていくことを理解する。
第4回 11月9日 	25	支え合いの活動について事例報告 報告をもとに協議体の活動を振り返る（グループトーク）	市内の第2層協議体から創出された支え合いの活動について知る。地域にある活動を見つける目を養い、協議体が行う担い手養成や支え合い活動の創出について具体的にイメージができるようにする。



行政より

まだスタートをきったばかりの地域づくり

画一的ではない、多様なサービスを提供すること

自助・互助に立ち返り、必要な人に必要な支援を届けること

それが総合事業の本旨であると高崎市は考えています

だから焦らず、バトンをつないでいきたい

これからの市民のために、将来の私たちのために

みんなでつなごう！支え合いの輪





**ご清聴頂き
ありがとうございました**

